

2022 年度事業報告について

I 2022 年度活動総括

2022 年度は、新型コロナウイルス感染対策への知見が深まり、社会経済活動との両立を目指す政府方針のもと行動制限を受けない1年であった。長らく停滞が続いていた社会経済活動も正常化に向けて動き出し、多くの人々が外出先で交流を楽しむ姿がみられるなど、対面で交流することの価値が改めて見直されるとともに、リアルな交流の場を持つSCの強みを再認識した。

当協会においても、新型コロナウイルス感染対策との両立を加速させた一年であった。支部においては、SC 接客ロールプレイングコンテストを3年ぶりに有観客で開催し大きな盛り上がりを見せた。また、人材育成においては、SC アカデミーにおけるオンライン活用の充実により地方からの受講生が増えた。また、下期からはセミナーの会場受講者が増えている。

一方で、SC においては、コロナ下においてもたらされた生活者の行動変容や新たな価値観への対応が求められるなかで、一旦は落ち着きをみせた人手不足の顕在化、さらには、エネルギー価格の高騰など SC 運営に大きな影響を与える社会課題にも直面している。

これらの状況を踏まえて、当協会では、創立 50 周年記念事業の皮切りとして、SC ビジネスフェア 2023 において、新コンテンツとなる新規事業提案コンテスト「チャレンジピッチ 2023 〜NEXT SC〜」を開催した。加えて、SC 経営士会による、「アフターコロナを見据えたショッピングモールの未来像」をテーマにした研究結果の発信など次世代のSCを見据えた取り組みをおこなった。

また、SC運営における喫緊の課題となる人手不足対策として、複数の支部においてESに関する講演会を開催するとともに、SC に携わる方々の働き方改善に繋げるべく売上報告の効率化に向けた提言の発表、ウェルビーイング研究会の立ち上げなどに取り組んだ。

その他、新型コロナウイルス感染症対策として「小売業の店舗における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」を実態に合わせて改訂をおこないSC運営の正常化を後押しするとともに、国に対しては「2023 年度税制等改正要望」や「電気代高騰に対する支援要望」など会員各社の事業継続の支援に取り組んだ。

上記に加えて、支部における研鑽・交流の拡大に資する取り組みとして、地方都市・観光都市という共通の特性を有する、北海道支部と九州・沖縄支部が、コロナ下での支部活動や各企業の課題等について、運営委員同士で意見交換をおこなったほか、関東・甲信越支部では、「アフターデジタル時代の接客」や「物流問題」をテーマに他業界の知見を交えた研修会を実施するなど、支部の課題を踏まえて研鑽・交流を積極的におこなった。

2022 年度は、これらの取り組みなどを通じ、会員価値の向上に努めた結果、年度末会員数はキャンペーン実施の効果もあり 919 社となった。

Ⅱ 会議

1. 総会

【2022 年度実績】第 50 回定期総会(2022 年 5 月 25 日)

2. 理事会

【2022 年度実績】第 1 回理事会(2022 年 4 月 27 日)
第 2 回理事会(2022 年 10 月 27 日)

3. 企画会議

【2022 年度実績】第 1 回企画会議(2022 年 10 月 20 日)
第 2 回企画会議(2023 年 3 月 27 日)

Ⅲ 支部活動報告

支部名	活動報告
北海道支部	2022 年度活動報告 (1) 支部総会 3 月 10 日/新さっぽろアーキシティホテル 4F スズラン) ①2023 年度北海道支部活動計画案 ②2023 年度北海道支部収支予算案 ③支部会員増強への取り組みについて (2) 運営委員会 1) 第 1 回(8 月 5 日/新さっぽろアーキシティホテル会議室) ①2022 年度事業計画およびスケジュール ②第 1 回研修会(セミナー)について ③SC 接客ロールプレイングコンテスト北海道大会について ④第 9 回日本 SC 大賞・第 7 回地域貢献大賞支部ノミネート委員会について 2) 第 2 回(12 月 1 日/新さっぽろアーキシティホテル会議室) ①2022 年度北海道支部総会について ②協会創立 50 周年記念事業－SC 経営士会との共同企画の実施について (3) 第 9 回日本 SC 大賞・第 7 回地域貢献大賞支部ノミネート委員会 1) 第 1 回(8 月 5 日/新さっぽろアーキシティホテル アークホール) ①支部ノミネートについて ②ノミネート方法とスケジュール(案)について 2) 第 2 回(10 月 20 日/新さっぽろアーキシティホテル アークホール) ①支部推薦の SC について ②推薦 SC の視察、ヒアリングについて (4) 支部研修会&懇親会 ①研修会(3 月 10 日/新さっぽろアーキシティホテル アークホール)*総会後に開催 テーマ:「～晴れる方角へ～ セノバの ES と『トライ! はたらくじかん PROJECT』」 講 師: 静鉄プロパティマネジメント(株) 常務取締役 セノバ事業部長 佐藤 壽康 氏 参加者: 74 名 ②懇親会 ※研修会後に実施 (5) オンライン交流会(12 月 1 日/オンライン開催) 参加者: 16 名(北海道支部 6 名、九州・沖縄支部 10 名) ※北海道支部と九州・沖縄支部の運営委員間で、With コロナ禍での支部活動、各企業の課題や取り組み等について意見交換を行った。 (6) SC 接客ロールプレイングコンテスト北海道大会(10 月 12 日/新さっぽろアーキシティホテル) 競技者: 合計 22 名(前回 21 名) 食品・飲食・サービス部門・・・5 名(前回 2 名)/ファッション・物販部門・・・17 名(前回 19 名)

東北支部	2022 年度活動報告 (1) 支部総会 (3 月 1 日/ホテルメトロポリタン仙台) 1) 2023 年度東北支部活動計画案 2) 2023 年度東北支部収支予算案 (2) 運営委員会 1) 第 1 回 (6 月 29 日/ホテルメトロポリタン仙台・オンライン併催) ① 2022 年度 東北支部総会および運営委員会の日程について ② 協会創立 50 周年記念事業企画について ③ 第 9 回日本 SC 大賞・第 7 回地域貢献大賞支部ノミネート委員会について ④ 秋の研修会について ⑤ SC 接客ロールプレイングコンテスト東北大会について 2) 第 2 回 (11 月 11 日/ホテルメトロポリタン仙台) ① 協会創立 50 周年記念事業－SC 経営士会との共同企画の実施について ② 2022 年度東北支部総会について (3) 第 9 回日本 SC 大賞・第 7 回地域貢献大賞支部ノミネート委員会 1) 第 1 回 (9 月 30 日/ホテルメトロポリタン仙台) ① 支部ノミネートについて ② ノミネート方法とスケジュール(案)について 2) 第 2 回 (11 月 4 日/ホテルメトロポリタン仙台) ① 支部ノミネート数について(確認) ② 東北支部ノミネート SC について ③ 今後のスケジュール等について (4) 秋の研修会・懇親会 (11 月 11 日/ホテルメトロポリタン仙台) 参加者: 研修会 62 名/懇親会 46 名 『ささえあう はたらく 時間プロジェクト ～新静岡セノバの ES への向き合い方～』 <講師> 静鉄プロパティマネジメント株式会社 セノバ事業部 運営 2 課長 大畑 恵 氏 同上 販売促進課長 白井 佳奈子氏 (5) 春の研修会・懇親会 (3 月 1 日/ホテルメトロポリタン仙台) 参加者 : 研修会 53 名/懇親会 33 名 テーマ 『夢を実現する』 <講師> 花巻学院 花巻東高等学校 硬式野球部監督 佐々木 洋 氏 (6) SC 接客ロールプレイングコンテスト東北大会 (10 月 27 日/ホテルメトロポリタン仙台) 競技者: 合計 40 名 (前回 27 名) ファッション・物販部門・・・27 名 (前回 21 名)/ 飲食・サービス部門・・・13 名 (前回 6 名) ※各部門の優勝者が支部代表として 1/27 (金) の全国大会へ出場され、 志田 紗恵氏 (フルアット・三井アットパーク 仙台港) が大賞・SC 接客日本一及び 経済産業大臣賞に輝いた。
関東・甲信越支部	2022 年度活動報告 (1) 支部総会 (3 月 13 日/三井不動産ロジスティクスパーク船橋) ① 2023 年度関東・甲信越支部活動計画案 ② 2023 年度関東・甲信越支部収支予算案 (2) 運営委員会 1) 第 1 回 (7 月 8 日/SC 協会会議室) ① 2022 年度 関東・甲信越支部活動スケジュール ② 研修会の開催について ③ SC 接客ロールプレイングコンテスト関東・甲信越大会/東京大会について

関東・甲信越 支部	④協会創立 50 周年記念事業企画について ⑤第 9 回日本 SC 大賞・第 7 回地域貢献大賞支部ノミネート委員会について 2)第 2 回(11 月 25 日/SC協会会議室) ①2023 年度関東・甲信越支部研修会について ②協会創立 50 周年記念事業—SC 経営士会との共同企画の実施について (3)第 9 回日本 SC 大賞・第 7 回地域貢献大賞支部ノミネート委員会 1)第 1 回(9 月 27 日/SC協会会議室) ①実施要綱について ②支部ノミネートについて ③ノミネート方法とスケジュール(案)について 2)第 2 回(11 月 2 日/SC協会会議室) ①ノミネート SC の検討、決定 ②SC のヒアリング・調査について ③今後のスケジュール等について (4)研修会 1)第 1 回(6 月 6 日/ところざわサクラタウン) テーマ:『日本最大級のポップカルチャー発信拠点「ところざわサクラタウン」 ～街づくりや販促におけるポップカルチャーコンテンツの可能性～』 視察研修会 参加者 29 名 講師 (株)KADOKAWA レクリエーション事業局局长 西澤 元晴 氏 2)第 2 回(9 月 14 日/ANA Blue Base) テーマ:『航空×SC 異業界セッション アフターデジタル時代の接客と UX の進化 ～市場競争を勝ち抜く接客の在り方とは～』 参加者 25 名 ・総合トレーニングセンター「ANA Blue Base」見学ツアー ・講演 1: 航空業界の取り組み 講師 全日本空輸(株) CX 推進室 CX 戦略部 今田 麻衣子 氏 全日本空輸(株) オペレーションサポートセンター OSC 空港サポート室 旅客サービス部 岩村 優憲 氏 ・講演 2: SC 業界の取り組み 講師 (株)アダストリア 広報部長 風間 陽子 氏 (株)アダストリア マーケティング本部 秋葉 絵美里 氏 ・クロストーク:航空業界と SC 業界が相互に交流するディスカッション 3)第 3 回(12 月 12 日/軽井沢プリンスザワーケーションコアほか) テーマ:「SC×ワーケーション」がもたらす地方創生・交流人口拡大の可能性 「軽井沢プリンスザワーケーションコアほか」視察&講演会 参加者 17 名+登壇関係者 10 名 ・現地視察①軽井沢プリンスホテルウエストの取り組み ・現地視察②軽井沢・プリンスショッピングプラザの取り組み ・講演 1:ショッピングセンターから発信する新しいワーケーション！ 講師 一般社団法人軽井沢観光協会/軽井沢リゾートテレワーク協会 事務局長 工藤 朝美 氏 ・講演 2:「Karuzawa Prince the Workation Core」概要 講師 (株)西武リアルティソリューションズ 賃貸事業部 担当課長 岸本 浩幸 氏 講師 野村不動産(株) 都市開発第一事業本部 ビルディング事業三部 事業課 課長 吉田 篤史 氏 「新しい働き方・暮らし方の推進に向けた JR 東日本の取り組み」 講師 東日本旅客鉄道(株) マーケティング本部 観光流動創造ユニット マネージャー 真壁 まり子 氏 ・交流会 4)第 4 回研修会(3 月 13 日/三井不動産ロジスティクスパーク船橋)
----------------------	---

関東・甲信越支部	テーマ:「SCは持続可能な物流にどう取り組むべきか?」視察&講演会 参加者 33 名 ・講演 1:物流事業者 講師 三井不動産(株) ロジスティクス本部 ロジスティクス運営部 運営グループ グループ長 八尋 弘憲 氏 ・講演 2:物流専門家 講師 物流ジャーナリスト 森田 富士夫 氏 ・現地見学会 三井不動産ロジスティクスパーク船橋 ・交流会 (5)単館 SC 研究会 1)第 37 回(8 月 30 日/協会会議室&オンライン) [テーマ] 電気料金、人材確保等について意見交換を実施 2)第 38 回(12 月 1 日/協会会議室&オンライン) [テーマ] テナント企業プレゼンおよび情報交換・名刺交換会を実施 3)第 39 回(3 月 28 日/SC協会会議室&オンライン) [テーマ]「PRC 情報研究会」メンバーとの合同勉強会および懇親会を実施 (6)SC接客ロールプレイングコンテスト関東・甲信越大会/東京大会 1)関東・甲信越大会(9 月 1、2、5~8 日/光が丘 IMA IMA ホール) 競技者:合計 231 名(前回 191 名) ファッション・物販部門...169 名(前回 137 名)/飲食・サービス部門...62 名(前回 54 名) 2)東京大会(10 月 3 日~7 日(ムーブ町屋 ムーブホール) 競技者:132 名(前回 121 名) ファッション・物販部門...80 名(前回 76 名)/飲食・サービス部門...52 名(前回 45 名)
中部支部	2022年度活動報告 (1)支部総会(3月28日/AP 名古屋) 1)2023年度中部支部活動計画案 2)2023年度中部支部収支予算案 (2)運営委員会 1)第1回(7月8日/AP 名古屋) ①2022年度中部支部総会および運営委員会の日程について ②協会創立50周年記念事業企画について ③第9回日本 SC 大賞・第7回地域貢献大賞支部ノミネート委員会について ④2022年度 SC 接客ロールプレイングコンテスト中部大会の運営について ⑤中部支部セミナーの企画について 2)第2回(12月8日・imy 会議室) ①2022年度第3回運営委員会&支部総会の開催について ②協会創立50周年記念事業—SC 経営士会との共同企画の実施について (3)第9回日本 SC 大賞・第7回地域貢献大賞支部ノミネート委員会 1)第1回(9月22日/AP 名古屋) ①実施要綱・支部ノミネート等について ②ノミネート方法とスケジュール(案)について ③中部支部ノミネート候補・選考フォーマット担当について 2)第2回ノミネート委員会(11月4日/AP 名古屋) ①中部支部ノミネート SC 選考フォーマットについて (4)研修会・懇親会 1)第1回(12月8日/imy 会議室) ①第1単元「新時代の SC×DX/変革のヒント」 講師:(株)トリニティーズ 代表取締役社長 中山 亮 氏 ②第2単元『百貨店閉店から半年でオープン! 「地方」×「単館」×「まちづくり」のリニューアル考』

中部支部	講師:豊田まちづくり(株) 営業本部T-FACE事業 次長 鬼頭 成江 氏 2)第2回(3月28日/AP 名古屋) 「商業施設のBCPと現場を活かすDX(言葉に踊らされない)への挑戦」 ～セノバが目指す方向性とシステム面から推進するL is B～ 講師:静鉄プロパティマネジメント(株) 常務取締役 セノバ事業部長 佐藤 壽康 氏 (株)L is B(エルイズビー) 代表取締役社長 CEO 横井 太輔 氏 (5)SC 接客ロールプレイングコンテスト中部大会 (11月16日～18日/名古屋市中小企業振興会館メインホール) 競技者:104名(前回83名) 食品・飲食・サービス部門・・・29名(前回18名)/ファッション・物販部門・・・75名(前回65名)
近畿支部	2022年度活動報告 (1)支部総会(3月7日:ホテルヴィスキオ尼崎) 1)2023年度近畿支部活動計画案 2)2023年度近畿支部収支予算案 (2)運営委員会 1)第1回運営委員会(7月20日/ホテルヴィスキオ尼崎) ①2022年度近畿支部活動スケジュール ②SC接客ロールプレイングコンテスト近畿大会について ③第9回日本SC大賞、第7回地域貢献大賞支部ノミネート委員について ④協会創立50周年記念事業企画について 2)第2回運営委員会(12月14日/梅田北プレイス4F サード・プレイス弥生) ①協会創立50周年記念事業－SC経営士会との共同企画の実施について ②2022年度近畿支部総会及びSCフォーラムについて (3)第9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞支部ノミネート委員会 1)第1回ノミネート委員会(9月29日/ホテルヴィスキオ尼崎) ①実施要綱について ②支部ノミネートについて ③ノミネート方法とスケジュール(案)について 2)第2回ノミネート委員会(10月24日/梅田北プレイス4F サード・プレイス弥生) ①各委員提出の委員推薦シート、各委員推薦承諾SCの確認 ②ヒアリング&視察先候補絞り込み、担当決定 ③選考フォーマットの記入について ④投票リストの提出について 3)第3回ノミネート委員会(11月29日/梅田北プレイス4F サード・プレイス弥生) ①投票結果の共有、ノミネート各賞確定 ②支部特別賞候補ピックアップ 4月に第4回ノミネート委員会を実施、その後「第9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞」受賞SCを決定・発表予定。 (4)SC研究会推進委員会会議 1)第1回(4月13日/㈱関西都市居住サービス 本社会議室) 2)第2回(6月15日/㈱関西都市居住サービス 本社会議室) 3)第3回(11月1日/JR西日本SC開発(株) 本社研修室) 4)第4回(12月14日/梅田北プレイス4F サード・プレイス弥生) 5)第5回(3月7日/ホテルヴィスキオ尼崎) (5)SC研究会セミナー 1)第1回パネルディスカッション(9月29日/ホテルヴィスキオ尼崎/参加者:38名) テーマ:『コロナ禍時代におけるSCの在り方について “コロナ”を機会にSCは如何に蘇生されていくのか?』

近畿支部	コーディネーター 大阪商業大学 教授 加藤 司 氏 パネリスト 関西文化学術研究都市センター(株) 政木 敬三 氏 (株)関西都市居住サービス 串 聡子 氏 東急不動産SCマネジメント(株) 村木 俊一 氏 サポート (株)関西都市居住サービス 代表取締役社長 中瀬 弘実 氏 司会 SC研究会座長(フィールド・ハーツ研究所 代表/主宰) 山本 敬二 氏 2)第2回パネルディスカッション(2月9日/ホテルヴィスキオ尼崎/参加者:62名) テーマ:『多様化する社会での“SC”の在り方～地域に息づくSCをめざして』 コーディネーター 大阪商業大学 教授 加藤 司 氏 パネリスト イオンモール(株) 森嶋 茂 氏 (株)セブン&アイ・クリエイトリンク 濱田 耕太 氏 三井不動産(株) 小野寺 弘康 氏 司会 SC研究会座長(フィールド・ハーツ研究所 代表/主宰) 山本 敬二 氏 (6)SCフォーラム 1)7月20日(ホテルヴィスキオ尼崎/参加者:51名) テーマ:『ささえあう はたらく時間プロジェクト～セノバのESへの向き合い方～』 講師:静鉄プロパティマネジメント(株) 常務取締役セノバ事業部長 佐藤 壽康 氏 2)3月7日(ホテルヴィスキオ尼崎/参加者:52名) テーマ:『パルのデジタル戦略～SNSの活用～』 講師:(株)パル 執行役員プロモーション推進部部長 堀田 寛 氏 (7)懇親会 1)7月20日(ホテルヴィスキオ尼崎/参加者:35名) 2)3月7日(ホテルヴィスキオ尼崎/参加者:36名) (8)SC接客ロールプレイングコンテスト近畿大会 (10月18日～21日/会場:ホテル京阪京橋) ・競技者:合計132名(前回137名) ファッション・物販部門・・・99名(前回106名)/食品・飲食・サービス部門・・・33名(前回31名)
中国・四国支部	2022 年度活動報告 (1)支部総会(3月23日/シーモールパレス エメラルドの間) 1)2023 年度中国・四国支部活動計画案 2)2023 年度中国・四国収支予算案 (2)運営委員会 1)第1回運営委員会(7月27日/山陽SC開発(株)会議室) ①2022 年度 中国・四国支部活動全体スケジュール ②協会創立 50 周年記念事業企画について ③第9回日本SC・第7回地域貢献大賞 支部ノミネート委員について ④2022 年度 SC 接客ロールプレイングコンテスト中国・四国大会の運営について ⑤研修会(11月～12月開催予定)の企画について 2)第2回運営委員会(12月5日/天王寺ミオ本館 ミーティングルーム1) ①協会創立 50 周年記念事業－SC 経営士会との共同企画の実施について ②2022 年度中国・四国支部総会について (3)第9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞支部ノミネート委員会 1)第1回ノミネート委員会(9月6日/山陽SC開発(株)会議室 ハイブリット形式) ①支部ノミネートについて ②ノミネート方法とスケジュール(案)について 2)第2回ノミネート委員会(11月2日/山陽SC開発(株)会議室) ①各賞のSC候補の決定 ②選考フォーマットのご記入をお願いする担当者の決定

	③協会事務局に提出するまでのスケジュールの確認 ※終了後、懇親会を開催 (4) 支部主催「視察研修会」&懇親会(12月5日) 視察会場:ららぽーと堺 参加者:14名 懇親会:天王寺ミオにて開催 (5) 記念講演会・懇親会(3月23日/シーモールパレス)) 1) 記念講演会(参加者:31名) テーマ:『フィジカルインターネット 実現のロードマップ』 講師:経済産業省 商務・サービスグループ 消費・流通政策課長 兼 物流企画室長 中野 剛志 氏 テーマ:『トラック運送業界の働き方改革について』 講師:公益社団法人全日本トラック協会 役員待遇企画部長 星野 治彦 氏 2) 懇親会(参加者 25名) (6) SC 接客ロールプレイングコンテスト中国・四国大会(11月10日～11日/さん太ホール)) 競技者:合計 75名(前回 59名) 食品・飲食・サービス...26名(前回 15名) / ファッション・物販...49名(前回 44名)
九州・沖縄支部	2022 年度活動報告 (1) 支部総会(3月1日/JR博多シティ 会議室*オンライン同時開催/参加者:20名) ①2023 年度九州・沖縄支部活動計画案 ②2023 年度九州・沖縄支部収支予算案 ③支部会員増強への取り組みについて (2) 運営委員会(7月12日/JR博多シティ 会議室) ①2022 年度 九州・沖縄支部活動スケジュール ②協会創立 50 周年記念事業企画について ③第 9 回日本SC大賞・第 7 回地域貢献大賞 支部ノミネート委員会について ④SC接客ロールプレイングコンテスト九州・沖縄支部大会について ⑤視察研修会の開催について ⑥2022 年度 九州・沖縄支部総会について ⑦他支部との連携について (3) 第 9 回日本SC大賞・第 7 回地域貢献大賞支部ノミネート委員会 1) 第 1 回(9月27日/オンライン) ①支部ノミネートについて ②ノミネート方法とスケジュール(案)について 2) 第 2 回(11月7日/オンライン開催) ①支部ノミネート数について(確認) ②九州・沖縄支部ノミネートSCについて ③今後のスケジュール等について (4) オンライン交流会(12月1日/オンライン開催) 参加者:16名(北海道支部 6 名、九州・沖縄支部 10 名) *北海道支部と九州・沖縄支部の運営委員間で、With コロナ禍での支部活動、各企業の課題や取り組み等について意見交換を行った。

	(5)EV用充電設備に関する説明会(3月1日/JR博多シティ 会議室 *オンライン同時開催) 参加者:20名 説明者:福岡市役所環境局 脱炭素社会推進部 脱炭素事業推進課 佐野 義弥 氏 (6)SC 接客ロールプレイングコンテスト九州・沖縄大会(9月28日・29日/JR九州ホール) 競技者:合計79名(前回50名) ファッション・物販部門…61名(前回39名)/食品・飲食・サービス部門…18名(前回11名)
--	---

IV 委員会活動報告

1. 総務・会員委員会

2022 年度 活動総括

総務・会員委員会では、主に次の項目について審議をした。

- (1) 会員サービスの向上に努め、会員数 920 社を目途とすること
- (2) 人材確保対策への取り組みの推進
- (3) 2020 中期経営計画(2020～23 年度)の進捗状況の把握
- (4) 支部、委員会、SC 経営士会の各事業の進捗状況の把握及び総合調整
- (5) 2022 年度予算管理の徹底
- (6) 協会創立 50 周年記念事業の推進

【1】会員募集について

2020 年度から継続して入会キャンペーンを実施。2022 年度は、前年と同様、テナント企業に限り年会費を半額とし、理事各位・各支部・専門委員会委員各位に「会員紹介」を依頼した。とくに、賛助会員の入会数伸長については、全国 7 支部の運営委員会において、取引先をご紹介いただいたことが要因である。

<キャンペーン内容>

期間:2022 年 4 月 1 日(金)から 2023 年 3 月 31 日(木)

特典 ・10,000 円～30,000 円の入会金を免除

・テナント企業(第 2 種)は、年会費(年間4万2千円～12万6千円)を半額

・WEB セミナー(通常 3 万円)へ 2 回無料招待

■入退会数(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

会員種別	2021 年度末	2022 年度			
		入会	退会	期末	増減
第一種正会員(ディベロッパー)	310	4	14	300	-10
第二種正会員(テナント)	266	11	14	263	-3
賛助会員	334	41	19	356	22
合 計	910	56	47	919	9

【2】SC ビジネスミーティング開催報告

今期、延べ 354 名 (21 年度 420 名) にご参加いただいた。なお、1 回あたり参加者数平均は 27 名であった。
(敬称略)

開催日		テーマ	登壇企業	参加人数
4月21日	BF編	「ショップにもSC営業部にもうれしい！！WEB活用研修とは」 「リラックスとコミュニケーションの場、コカ・コーラの新サービスPOP GARDEN」	ワンスアラウンド(株) コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)	75名
5月24日	第21回	「コロナ禍の顧客変化を理解～決済データのマーケティング活用～『Custella(カステラ)』」 「リアル店舗のDXソリューション人流・販売力の可視化サービス『TRASTREAM(トラストリーム)』」	三井住友カード(株) 技研トラステム(株)	48名
6月14日	第22回	「AI解析とサイネージ広告を融合することで、リアル空間の人流・視聴情報と広告効果を可視化する『SIGN DIGI』」	ニューラルポケット(株)	35名
7月12日	第23回	「業務効率化と働きがい向上を兼ね備えたデジタル活用について」	(株) HataLuck and Person	8名
8月16日	第24回	「商業施設におけるAI活用」について	(株) アジラ (株) バカン	20名
9月13日	第25回	「商業施設におけるDX活用」について	(株) USEN 東日本電信電話(株) ※NTT東日本	25名
10月18日	第26回	「ショッピングセンターにおけるデータ活用の課題と可能性」	(株) ジェシービー / (株) ナウキャスト	29名
11月15日	第27回	「リユース業界における買取専門店の現状と今後のSCへの出店について」 「カプセルトイショップの未来像」	(株) エンパワー (株) ルルアーク	35名
12月20日	第28回	「AI画像解析技術によるSCデジタル化：事例とソリューションのご紹介」 「免税制度改正対応とアフターコロナに向けたインバウンドの取り組み」	ニューラルポケット(株) (株) J&J Tax Free	17名
1月31日	第29回	「ショッピングセンターにおけるEV充電インフラの展望」	Terra Motors (株)	23名
2月21日	第30回	「ライン照明で店舗空間の差別化を図る」	(株) GLORY	9名
3月22日	第31回	「競合フロアの利用実態丸わかり ～ビッグデータ活用新手法～」 「そのポスター見られてる？ 視線計測付きデジタルPOPのご紹介」	(株) ipoca (株) バルコデジタルマーケティング	21名
3月23日	第32回	「業務停止時間ゼロで床の傾きや沈下を直すテラテック工法のご紹介」	メインマーク(株)	9名

【3】人材確保対策特別委員会／活動総括

(1) 総括

2022 年度は感染対策と社会経済活動の両立が進む中で、人流や SC の営業状況が回復するにしたがって人材確保の課題が再燃することとなった。

このような状況下で、人材確保対策特別委員会は従来の事業を継続実施するとともに、SC で働く全ての人たちの ES・働き方改革を、「ウェルビーイング」の視点を取り入れて推進することを掲げ、「ウェルビーイング研究会」を立ち上げた。SC 現場の課題や現行の取組みに関する議論を複数回行い、あるべき姿や目指すべき状態について、取りまとめを行った。

また、既存事業においては先進事例の発信として、「人手不足解消セミナー」や「新静岡セノバの取組み」の HP 掲載を行ったほか、実態の経年把握として「ES 向上・人材確保に関する定量調査」を実施、またロープレ大会受賞者の HP 掲載など、販売員の地位向上にも取り組んできた。

各専門委員会では人材確保に関する取組みを推進するとともに、各支部においても、ES・人材確保関連の講演会を多数企画・実施した。

(2) 事業報告

1) SCにおけるウェルビーイングについての意見交換、研究

ウェルビーイング研究会を立ち上げ、5回の議論を行った。それらの議論をとりまとめ、

○SC の人材確保施策のあるべき姿

○それを実現するために SC が目指すべき状態

について認識共有を行ってきた。

次年度はこれらを目指す上での「打ち手」と「好事例」の収集を行っていく。

<WB 研究会のロードマップ>

- 2022 年度 起:WB と人材確保の仮説に基づく研究会の立上げ
承:議論着手、課題整理やあるべき姿を導く
2023 年度～ 転:あるべき姿に基づくメニュー整理と事例収集
結:先行事例を蓄積・発信し、各社の課題に合わせた施策具体化の参考としてもらう。

■あるべき姿（案）

- ・企業側の想い : スキルを身につけた方に長く働き続けてほしい、また戻ってきてほしい。
- ・働き手の価値観: 仕事を人生の自己実現の一部と捉え、生き方・働き方を主体的に選択したい。

⇒ 企業は「働き手の人生の中長期的なパートナーになれているか」という観点で人材確保施策に取り組む必要がある。

■その実現に向けてSCが目指すべき状態（案）

<大前提（必要条件）> 中長期的ビジョンを示す

① キャリアパスを含めた“ライフパス”を描いてもらえる状態 （多様な就業観に対応するキャリアパスやロールモデルなど）

<優先度の高い項目（十分条件）> SCビジネスの特徴を捉える

② 就労環境を常に合理的に改善している状態 （営業時間の見直し、カスハラ対策など）

⇒ SCはデベ・テナントの共同事業であり、課題解決は一方の努力ではなく、双方による議論が必要なため

③ 就労意欲のある経験者を柔軟に受け入れられる状態 （カムバック、隙間時間でも働ける制度など）

⇒ 販売経験や飲食経験のスキルをもつ人が再度活躍（戦力化）しやすいため

※これらを柔軟で納得感のある就業規則や人事・評価制度が下支えする。

2) 継続事業の実施

横断的な展開につながる情報収集と発信を実施

- 人手不足解消セミナー(2/3)開催レポート【5/14HP 掲載】
- 新静岡セノバ「営業時間フレックス制・パワーチャージ休暇制度」実施 1 年後のレポート【3/10HP 掲載】
- 人材確保に関する定量調査【3 月 HP 掲載】
- 支部、各専門委員会における、SCにおけるESや働き方改革への推進(通年)

■「新静岡セノバの取組み」をテーマとする講演会実績

- 2022/ 7/20 近畿支部
2022/11/11 東北支部
2022/10/27 理事会
2023/ 3/10 北海道支部

■売上報告効率化 WG(DX 委員会)

- 2022/5/27 「売上報告の効率化に向けた提言」を公表（総会にて配布）
2023/1/26 SCBF2023 無料セミナー「ES 視点で考える、その売上報告いつまで続けるの？」開催
2023/2/21 DX 勉強会「売上報告業務担当者による意見交換会」開催

【4】委員会の一部再編について

当協会が掲げている目的を果たすべく、効果的な体制の下で協会運営のさらなる活性化を図るため、2023 年度第 1 回理事会の決議を受けて委員会の一部再編を行う。

「総務・会員委員会」と「公共政策・環境委員会」を合併して『総務・会員委員会』とし、「人材育成委員会」と「接客ロールプレイングコンテスト実行委員会」を合併して『人材育成委員会』とする。（施行日は 5 月 23 日）

【再編後】委員会組織と分掌業務

委 員 会		
	委員会等（下部組織の名称は仮を含む）	分 掌 業 務
1	総務・会員委員会 ・人材確保対策特別委員会 ・公共政策WG ・環境WG	<総務> ・協会運営に関する重要事項 ・予算、決算に関する事項 ・重要人事、組織、諸規定に関する事項 ・総会、理事会、企画会議の開催に関する事項 ・他の委員会に属さない事項 <会員> ・支部に関する事項 ・会員の拡充に関する事項 ・会員特典、サービスに関する事項 ・会員支援、MS(会員満足)に関する事項 <公共政策・環境> ・公共政策・行政対応に関する事項 ・関係官庁への提言、要望に関する事項 ・SCの環境対策への取り組みと発信に関する事項 ・インバウンドに関し、官公庁と連携する事項
2	人材育成委員会 ・SC経営士試験実行委員会 ・接客マイスター試験実行委員会	・セミナー、通信教育、サポート関連等に関する事項 ・SCに関わる教育研修の企画実施に関する事項 ・海外研修の企画実施に関する事項 ・SC経営士制度、及び試験に関する事項 ・SC接客マイスター検定制度の実施に関する事項 ・SCアカデミーの企画実施に関する事項 ・ロールプレイングの企画、実施に関する事項
3	情報委員会	・協会及びSC業界の広報活動に関する事項 ・各種情報の収集と発信に関する事項 ・広報誌、メールマガジンの企画編集に関する事項 ・ホームページの編集に関する事項
4	調査研究委員会	・国内外SC及び流通全般にわたる調査及び実情把握、提供に関する事項 ・経営支援情報等、当面の課題に対する調査研究に関する事項 ・各国のSC関連団体との交流に関する事項
5	全国大会実行委員会	・SCビジネスフェアの企画、実施に関する事項 ・シンポジウム・セミナーの企画、実施に関する事項
6	デジタルトランスフォーメーション委員会	・ニューテクノロジーの活用支援に関する事項 ・DX推進に仕組みやすい環境整備に関する事項 ・DXに取り組む機運醸成に関する事項
7	SC経営士会	・SC経営士相互の研鑽と交流 ・SC業界が抱える課題解決に向けた研究や委員会のサポート活動等、協会のシンクタンクの機能を担う

【参考】前委員会組織と分掌業務

委 員 会		
	委員会等	分 掌 業 務
1	総務・会員委員会 ・人材確保対策特別委員会	・協会運営に関する重要事項 ・予算、決算に関する事項 ・重要人事、組織、諸規定に関する事項 ・総会、理事会、企画会議の開催に関する事項 ・支部に関する事項 ・会員の拡充に関する事項 ・会員支援、MS(会員満足)に関する事項 ・会員特典、サービスに関する事項 ・他の委員会に属さない事項
2	公共政策・環境委員会	・公共政策・行政対応に関する事項 ・関係官庁への提言、要望に関する事項 ・SCの環境対策への取り組みと発信に関する事項 ・インバウンドに関し、官公庁と連携する事項
3	人材育成委員会 ・SC経営士試験実行委員会	・セミナー、通信教育、サポート関連等に関する事項 ・SCに関わる教育研修の企画実施に関する事項 ・海外研修の企画実施に関する事項 ・SC経営士制度、及び試験に関する事項 ・SCアカデミーの企画実施に関する事項
4	情報委員会	・協会及びSC業界の広報活動に関する事項 ・各種情報の収集と発信に関する事項 ・広報誌、メールマガジンの企画編集に関する事項 ・ホームページの編集に関する事項
5	調査研究委員会	・国内外SC及び流通全般にわたる調査及び実情把握、提供に関する事項 ・経営支援情報等、当面の課題に対する調査研究に関する事項 ・各国のSC関連団体との交流に関する事項
6	全国大会実行委員会	・SCビジネスフェアの企画、実施に関する事項 ・シンポジウム・セミナーの企画、実施に関する事項
7	接客ロールプレイング実行委員会 ・接客マイスター試験実行委員会	・ロールプレイングの企画、実施に関する事項 ・SC接客マイスター検定制度の実施に関する事項
8	デジタルトランスフォーメーション委員会	・ニューテクノロジーの活用支援に関する事項 ・DX推進に仕組みやすい環境整備に関する事項 ・DXに取り組む機運醸成に関する事項
9	SC経営士会	・SC経営士相互の研鑽と交流 ・SC業界が抱える課題解決に向けた研究や委員会のサポート活動等、協会のシンクタンクの機能を担う

【5】大学および専門学校の会員化について

2003 年度から始めた冠講座は、社会貢献と次世代の人材育成を目的として、これまで延べ 47 大学で実施してきた。この冠講座の講義は、実務に精通した SC 経営士が担当しており、おかげさまで学生や大学から高い評価をいただいている。この冠講座実施大学の中には、個人会員として入会している大学教授がおられ、さらに大学として入会したいという申し出をいただいているところがある。

これらを背景に、今後、協会と大学の関係をより密接にして、お互いの活動に生かしていくことは両者にとって有益と考えられ、併せて教育機関を新たな会員募集の対象とすることは協会会員の幅を広げることにつながる。

そこで、2023 年度第 1 回理事会の決議を受けて、大学および専門学校を、賛助会員「法人」の「団体」の資格区分に加えることとする。

【規約第 6 条第 1 項 (1) 別表第 4 (抜粋)】

1. 会員の種類（定款第 5 条）

正 会 員	第一種	ディベロッパー	現にショッピングセンターを所有し、開発し又は管理するもの及び今後所有し、開発し又は管理しようとするもの
	第二種	テナント	現にショッピングセンターにおいて小売業(飲食店業を含む)、サービス業そのほか消費者に利便を提供することを業として営むもの及び今後営もうとするもの
賛助会員(関連企業・団体・個人)			本会の目的に賛同し、その事業に協力しようとするもの

2. 入会金及び会費

会員の種類		資 格 区 分	入会金	年会費	
正 会 正会員	第一種	当該ＳＣ総面積５，０００㎡未満（ただし、６大都市に本社（本部）を置く法人等を除く）	３万円	９万円	
		当該ＳＣ総面積１０，０００㎡未満	３万円	２４万円	
		当該ＳＣ総面積１０，０００㎡以上 ５０，０００㎡未満	３万円	３３万円	
		当該ＳＣ総面積５０，０００㎡以上	３万円	４５万円	
	第二種	店舗数１０店未満の法人等	１万円	４万２千円	
		店舗数１０店以上の法人等	１万円	７万８千円	
		店舗数５０店以上の法人等	１万円	９万円	
		店舗数１００店以上の法人等	１万円	１２万６千円	
賛 助 会 員	法人	企業	本会の目的に賛同し、その事業に協力する法人等	３万円	２４万円
		団体	地方自治体、商工会議所、商工会、商店街、テナント会、 大学、専門学校	な し	１２万円
	個人	ＳＣ経営士※ ^１	な し	１万２千円	
		大学・専門学校関係（教授、講師などＳＣ研究者）※ ^２	な し	２万円	
		会友（協会理事、専門委員会委員、支部運営委員のいずれかを経験したことがある者）※ ^３	な し	２万円	

【6】功労者表彰について

協会創立 50 周年記念事業の一環として、功労者表彰について検討してきた。下記の内容にて 2023 年度第 1 回理事会の決議を受けて、本日、記念式典を実施する。

(1)功労者表彰の考え方

1) 周年毎に実施

○功労者表彰

- ・40周年(2013年)から 50 周年(2022年)の10年間を対象期間とする。
- ・故人は除く。
- ・選考に際しては、第 2 回理事会で承認いただいた考え方に基づく。

①歴代会長、役職経験者

- ・会長経験者
- ・副会長経験者:2期4年以上
- ・各委員会委員長経験者・支部長経験者・専務理事経験者:3期6年以上または通算で6年以上

②協会活動に特にご尽力いただいた「企業」「団体」「個人」

- ・SC 業界の人材育成に特に尽力。
- ・委員会および支部活動において、役職経験の有無に関わらず、実務において特に尽力。

③マスコミ関係

④上記のうち、①または②の該当者で、過去に受賞者された個人は「特別功労者」として表彰する。

2) 50 周年でのみ実施

○50 周年感謝状

- ・50 周年の節目として、協会創立から現在に至るまで協会会員である「企業」に対し感謝の意を込めて、感謝状を贈呈する。

(2)功労者

○功労者表彰

- ① 歴代会長、役職経験者(10 名)
- ② 協会活動に特にご尽力いただいた「企業」「団体」「個人」(14 名)
- ③ マスコミ関係(1 社)
- ④ 特別功労者(4 名)

40 周年時に功労賞を受賞しているが、その後の 10 年間においても、委員会活動やSC業界の研鑽・交流の拡大に大きく貢献していただいている方々。

○50 周年感謝状(34 社)

50 周年の節目として、協会創立時(1973 年 4 月)から現在に至るまで協会会員である企業に対し感謝の意を込めて、感謝状を贈呈する。

2. 公共政策・環境委員会

2022 年度 活動総括

(1) 総括

2022 年度は SC 業界の売上が回復基調にあるとはいえ道半ばの状況にあり、一方でコロナいかに関わらず待ったなしの対応を迫られている社会課題や頻発する災害に対する対応が主な課題となった。

「2023 年度税制等改正要望」においては、こうした現場課題に即した実効性のある要望をまとめるべく、委員企業による検討ワーキンググループを組成して議論を行い、11項目の要望を行った。また要望書の提出にあたっては国土交通省幹部および経済産業省幹部との意見交換も行い、SC 業界の現況を伝えるとともに、直接要望書の提出を行なった。

他方で、環境問題への取組みの一環として「低炭素社会実行計画」のフォローアップ調査を実施した他、社会課題に関する取組みの一環として、免税制度とインバウンド動向に関する説明会(国税庁、全国免税店協会、JSTO の担当者による説明)を開催し、法律や制度に対する会員企業の周知・理解促進を図った。

また、委員会の基礎的活動として、外部委員会への参加を始めとする官公庁等との連携による情報収集、調整・要望等を行うと共に、会員へのタイムリーかつ有益な情報提供に努めた。

(2) 事業報告

1)2023 年度税制等改正要望

①税制等改正要望ワーキンググループ(WG)の設置

コロナ禍等により厳しい営業状況にある SC の現場課題を捉え、実効性のある要望を行なうべく、2023 年度は、新たに委員企業による検討議論の場(ワーキング)を設置し、要望の精査に取り組み要望事項をとりまとめ、2022 年 8 月 31 日に国へ要望書を提出した。

②国土交通省および経済産業省との意見交換会

要望事項を所管する国土交通省および経済産業省と、SC 協会役員による意見交換会を実施し、コロナ禍による影響が続き、経営回復途上であること、また DX や環境などの新たな社会課題に対して SC が果たしていく様々な役割を伝えた上で、税制・制度面での公的支援を直接要望した。

【国土交通省】

<日時>2022 年 9 月 29 日(木) 14 時 00 分～15 時 00 分

<国土交通省出席者>長橋不動産・建設経済局長、天河都市局長、甲川水管理・国土保全局次長、石坂大臣官房審議官

<SC 協会出席者>清野会長、岩村副会長、大林副会長、佐野副会長、
会場公共政策・環境委員長、椿専務理事

【経済産業省】

<日時>2022 年 10 月 13 日(木) 10 時 30 分～11 時 00 分

<経済産業省出席者>茂木商務・サービス審議官、澤井審議官、中野消費・政策流通課長、
和仁消費・流通政策課総括課長補

<SC 協会出席者>清野会長、岩村副会長、椿専務理事

③2023 年度税制改正要望に係る措置状況の概要

○「既存の支援・措置制度の延長・継続」については、以下の通り延長となった。

・長期保有土地等に係る事業用資産の買換えの特例措置の延長

・都市再生促進税制(都市再生緊急整備地域等に係る課税の特例措置)の延長

⇒ 現行の措置を3年間(2023 年4月1日～2026 年3月 31 日)延長する。

○その他要望事項の新設や改廃状況は、予算成立後、各省庁の発表を待って精査する。

2) 公共政策関連情報の収集及び周知

①新型コロナウイルス感染症に係る取組み

- 官公庁や自治体による対応方針について情報収集・周知(121 件(うちコロナ関連 74 件))
- 「小売業の店舗における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」改訂

②電気代支援に関する要望

ロシアによるウクライナ侵略等を背景とした LNG 等の輸入価格の高騰に伴い、今春以降の急激な値上げとなる可能性のある電気代の上昇に対応するため、国より発表された令和 4 年度補正予算「電気・ガス価格激変緩和対策事業」について、その支援対象に関する要望書を 2022 年 12 月 15 日に西村経済産業大臣宛に提出した。

③制度説明会

- 「インボイス制度」に関する説明会(2022 年 5 月 18 日)
- 免税販売とインバウンド動向に関する説明会(2023 年 2 月 6 日)

④公共政策に関する情報収集と各種要望・周知活動

外部委員会への参加や官公庁等との連携による情報収集等と、会員への情報提供を行った。

3) 社会課題への取り組み

- ・「低炭素社会実行計画フォローアップ調査」の実施
- ・「地域貢献ガイドライン 2022 年度フォロー調査」の実施

3. 人材育成委員会

2022 年度 活動総括

(1) 総括

2022 年度の基本方針のもと、セミナーや SC アカデミー等をリアル開催と WEB 展開で実施したが、上期実施のセミナーは、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、リアル開催の受講者数、2021 年度に実施したセミナーのアーカイブ配信の受講者とも予定よりも少ない結果になった。この状況を挽回すべく、下期は会場セミナーを追加開催し、あわせて、2022 年度実施セミナーのアーカイブ配信を行ったが、受講者数は予定人数に達しなかった。実施したセミナーの中で受講者数が最も多かったセミナーは（80 名）、WEB 限定の「巡回業務のポイントを学ぶセミナー」だった。このセミナーは、“今さら人に聞けない” 内容を短時間で受講できるもので、受講料も比較的安価に設定したのが好調要因と思われ、来期への足掛かりとなる好事例である。

また、2022 年度に本格稼働を予定した「テナントスタッフ向け新オンライン教育プログラム」は、会員各社にヒアリングを行い、顧客ニーズを深堀した結果、事業計画を見直し、よりニーズの高い内容に変更することになった。

通信教育講座は、昨今の商環境の変化や記載情報の更新が必要になってきたため、テキストの全面改定を実施した。あわせて運用の見直しについても、要望が多かったオンラインでの課題提出の仕組みづくりを行い、2023 年 5 月に新テキストによる講座が開講した。

(2) 事業報告

① セミナー

- 延べ開催本数：88 本（内訳：会場 31 本・アーカイブ 56 本・WEB ライブ 1 本）
（予定：69 本 内訳：会場 23 本・アーカイブ 23 本・21 年度アーカイブ 23 本）
- 延べ受講者数：1,083 名（予定：1,260 名 予定受講者数比 86.0%）
- 1 本あたりの平均受講者数：12.3 名

② 海外研修

※2020 年度から、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止している。

③ 通信教育（申込人数）

（単位：人）

講座名	2022 年度			2021 年度		2019 年度	
	実績 (a)	予定 (b)	比較増減 (a)－(b)	実績 (c)	比較増減 (a)－(c)	実績 (d)	比較増減 (a)－(d)
SC 開発講座	126	135	－9	188	－62	125	1
SC 管理運営講座	487	495	－8	582	－95	477	10
合計	613	630	－17	770	－157	602	11

④テナントスタッフハンドブック

(単位:冊)

	2022年度			2021年度		2019年度	
	実績 (a)	予定 (b)	比較増減 (a)－(b)	実績 (c)	比較増減 (a)－(c)	実績 (d)	比較増減 (a)－(d)
SCテナントスタッフ ハンドブック	81	190	-109	193	-112	299	-218

⑤SCマネジメントブック

(単位:冊)

	2022年度			2021年度		2019年度	
	実績 (a)	予定 (b)	比較増減 (a)－(b)	実績 (c)	比較増減 (a)－(c)	実績 (d)	比較増減 (a)－(d)
SCマネジメントブック	115	106	9	127	-12	180	-65

⑥サポート関連

(単位:件)

	2022年度			2021年度		2019年度	
	実績 (a)	予定 (b)	比較増減 (a)－(b)	実績 (c)	比較増減 (a)－(c)	実績 (d)	比較増減 (a)－(d)
サポート関連	9	28	-19	4	5	28	-19

⑦SCアカデミー

第16期受講者数 42名

4. 情報委員会

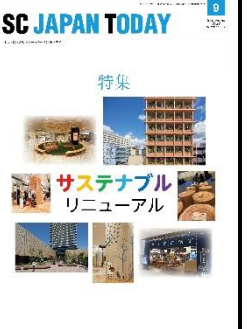
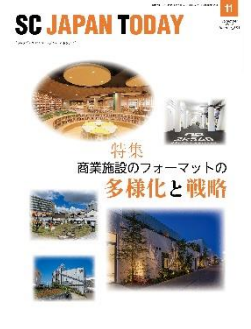
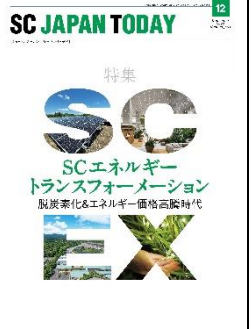
2022年度 活動総括

(1) 総括

2022年度は、基幹事業である月刊誌『SC JAPAN TODAY』では、「光熱費高騰」「テナントリーシング」といった喫緊の課題から、「ウェルビーイング」「サステナブル」など今注目すべき話題まで時流を見据えた特集企画を組み、会員のビジネスに生かしていただく情報を提供してきた。さらに、2021年度よりさらなる情報発信力の向上を目的に、各種情報媒体(情報発信手段)の再構築を推進。2022年4月に当協会WEBサイトの大規模リニューアルを実施したほか、2022年度からは月刊誌に注目し、月刊誌の利用や要望などに関する会員アンケートを実施して媒体力向上に向けて検討を進めてきた。また当協会が2023年4月に創立50周年を迎えるにあたり、記念媒体の制作を決定した。2022年秋にワーキンググループを立ち上げて、制作に着手している。

(2) 事業報告

1) 月刊誌「SC JAPAN TODAY」

4月号	5月号	6月号	7・8月合併号	9月号
ウェルビーイング 心も身体も満たされるSCづくりとは	次代の主要顧客 Z世代	“楽しむ”飲食ゾーンの復活	SCを彩る NEXT 専門店	サステナブル リニューアル
				
10月号	11月号	12月号	1・2月合併号	3月号
OMO時代 顧客視点のCX	商業施設のフォーマットの多様化と戦略	SCエネルギー変革～脱炭素化&エネルギー価格高騰時代～	コロナ禍を経たSCプロモーションの変化/エリアマネジメントへつくるから共に育てるへ	協会創立50周年記念 第47回日本ショッピングセンター全国大会
				

2022年度より月刊誌「SC JAPAN TODAY」の媒体力向上に向けて検討を開始し、月刊誌の利用や要望などに関する会員アンケートを実施した。

調査期間:2022年9月30日～10月31日

回答社数:125社(第一種63社、第二種31社、賛助31社) ※会員(法人)窓口担当者

<アンケート結果(主な回答)>

- ・月刊誌(紙版):86%の企業が「毎月読む」、80%の企業が「社内回覧している」と回答
- ・月刊誌(デジタル版):74%の企業が会員向けデジタル版閲覧に必要な「協会ホームページのID/パスワードを自社の従業員に周知していない」と回答
- ・今後の発行(紙 or デジタル):67%の企業が「(引き続き)紙媒体での発行がよい」と回答
- ・「もう少し写真や図を多用してほしい」などの見やすさや情報量などの改善点をあげる企業が多かった。

2) 広報活動

①協会WEBサイト

2022年4月26日にリニューアルオープン

改修ポイント:「各ページへの入口・導線を整理」「見やすく、わかりやすく」「会員情報の発信機能を追加」

実績:ユニークユーザー数約30万、ページビュー数約187万(オープン～2023年2月末時点)

②定例記者懇談会

夏季と冬季の年2回開催

【夏季】

日 時	2022年8月3日(水) 17:00～18:00 懇談会 18:00～19:00 交流会
場 所	ホテルメトロポリタンエドモント(飯田橋)
内 容	I. 2022 年上期 SC 業界の動向 1. 2022 年上期(1～6 月)SC 販売統計調査報告 2. 2022 年上期(1～6 月)オープン SC の概要 3. 2022 年下期(7～12 月)オープン予定の SC 等商業施設 II. SC の 取り組みの傾向 アフターコロナを見据えて III. 日本ショッピングセンター協会が取り組む「人材育成事業」 1. セミナー 2. SC アカデミー 3. SC 経営士会 IV. その他協会活動トピック 1. 第9回日本 SC 大賞・第7回地域貢献大賞 2. 売上報告の効率化に向けた提言 3. SC ビジネスフェア 2023 4. 第28回 SC 接客ロールプレイングコンテスト
記者数	35 名



【冬季】

日 時	2022年12月22日(木) 11:00～12:30懇談会 12:30～13:00囲み取材
場 所	ホテルメトロポリタンエドモント(飯田橋)
内 容	I. 2023年年初所感 II. 2022年SC業界の動向 1. SC販売統計調査報告 2. オープンSCの概要 3. SCの取り組み 4. 令和5年度税制等改正要望 III. 2023年 オープン予定のSC等商業施設 IV. 2023年 協会の主な取り組み 1. SCビジネスフェア2023 2. チャレンジピッチ2023 ～NEXT SC～ 3. 第28回SC接客ロールプレイングコンテスト 4. SC経営士会&支部「未来のSC像」研究セミナー 5. 第9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞 6. 2023年の主な行事予定
記者数	36名



③プレスリリース配信

・販売統計(2022年3月～2023年2月度)	12回
・SC白書2022 発行	1回
・第50回定期総会 開催報告	1回
・第9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞 募集	1回
・夏季／冬季定例記者懇談会 開催報告	2回
・第28回SC接客ロールプレイングコンテスト支部大会 開始	1回
・チャレンジピッチ2023 ～NEXT SC～ 募集	1回
・第3回 ショップスタッフが作った動画集 募集	1回
・月刊誌 新刊販売(6～1・2月合併号)	5回
・SC緑陰／秋晴れトップフォーラム 募集	2回
・チャレンジピッチ2023 最終選考出場者決定	1回
・第47回日本ショッピングセンター全国大会 開催/結果	2回
・SC賃料・共益費2022 発行	1回
計31回[前年:26回]	

④メルマガ「JCSCNEWS」

毎月月末に通常号(協会活動、オープン SC、販売統計など)、月中にセミナー号を配信。

配信数:約 8,500 ユーザー/回(2023 年 3 月末時点)

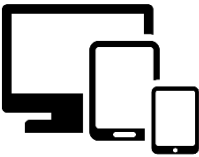
2022 年より会員限定で新たにメルマガ広告を開始 申込数:7 件

⑤取材対応

- ・大韓貿易投資振興公社(KOTRA) 来訪(4月26日)・・・日韓におけるSC等の状況などを情報交換
- ・TBSテレビ「坂上&指原のつぶれない店」(9月15日放送)・・・SC数等の情報提供
- ・テレビ東京「WBS」、日本テレビ「news every.」「ZIP」「ヒルナンデス！」
・・・アウトレットモール関連情報の提供
- ・織研新聞社 清野会長インタビュー(12月14日) など

3) 協会創立 50 周年記念媒体

2022 年秋にワーキンググループ(構成:情報委員会委員)を立ち上げて、制作物および内容を具体化した。記念媒体として、「特設 WEB サイト」「写真集」を制作するほか、月刊誌「SC JAPAN TODAY」(2023 年 5 月号～12 月号)に記念コンテンツを掲載する。

月刊誌	特設 WEB サイト	写真集
 記念座談会を中心としたスペシャルコンテンツを掲載	新規制作  月刊誌、写真集と連携したコンテンツを掲載する特設 WEB サイト	新規制作  SC のあゆみを写真で振り返るコンテンツを中心とした写真集
<掲 載> 5～12 月号(特集ページとは別に、50 周年記念コーナーを設けてスペシャルコンテンツを掲載予定)	<公 開> 5 月中旬(第 1 弾)。以降、12 月までコンテンツを随時掲載予定	<発 行> 5 月中旬(5 月 23 日開催の第 51 回定期総会および郵送にて会員に配布予定) <部 数> 3,000 部 <仕 様> カラー、A4 横長、40 ページ
<主なコンテンツ> ・協会役員・異業界からのメッセージ ・わが国の SC のあゆみ(寄稿) ・ディベロッパー座談会 ・テナント座談会 ・未来につながるテーマ座談会 など	<主なコンテンツ> ・写真でみる、SC のあゆみ ・SC の第一線で活躍する会員社員インタビュー(連載) ・数字でみる、SC の現在 ・過去記念誌デジタル版 ・月刊誌座談会 など	<主なコンテンツ> ・ビジュアル年表 ・写真でみる、SC のあゆみ ※年代別、テーマ別に代表的な SC・取り組みを写真で紹介 ・SC の未来想像図(イラスト制作) など

5. 調査研究委員会

2022 年度 活動総括

(1) 総括

2022年度は、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たないものの、行動制限の解除によりSCへの来館が増加し、コロナ禍前の売上への回復傾向がみられた。そのようなSCの売上や、賃料・共益費、新規開発などの動向について、SCディベロッパー企業各社の協力により調査を実施してきた。

また、2023年4月に迎える協会創立50周年に向けて、これまでのSC業界を振り返る長期的な統計データの整理に着手した。近年の商業施設の多様化をふまえて、SC定義・取扱い基準の検証も進めた。

(2) 事業報告

1) SC販売統計調査

SC販売統計調査は、月次、四半期、上半期、下半期、年間調査を着実に実施した。また、精度向上のためサンプル増に努め、3社12SCの新規協力を得た。

2) SC賃料・共益費実態調査2022

契約形態別(個別徴収、総合賃料・賃料名目一本化)にて、月坪賃料、月坪共益費、総合賃料の調査を実施し、2023年1月16日に協会WEBサイト(会員限定)にて発表した。サンプル数は287となった。

3) 『SC白書2022』の発刊、SC開発動向等データの発表

国内外のSC業界の動向や各種基礎データを掲載した『SC白書2022～進化する「リアルな場」としての存在価値～』を第50回定期総会開催日(2022年5月25日)に発刊した。国内SCの開発動向や売上動向などに加え、人材確保調査結果やエネルギー量実態調査結果などを盛り込んだ。海外SC情報としては、米国、中国、アセアンのSCおよび小売の動向について掲載した。

また、SCの新規オープン情報に加えて、会員に向けてSCの開発計画(月次)ならびに全国のSCの基礎情報(年1回・6月)を発信した。

4) SC定義・取扱い基準の検証

近年、テナントの業種構成の変化や1つの建物内にとどまらない形態の施設の増加など、商業施設の多様化が見られるなか、SC定義・取扱い基準が現状と整合性がとれているかどうかの検証を進めた。

6. 全国大会実行委員会

2022 年度(第 47 回大会) 活動総括

(1) 概要について

協会創立50周年記念事業のスタートとして開催した。

○会期:2023 年 1 月 25 日(水)～1 月 27 日(金)

○併催イベント①『チャレンジピッチ 2023 ～NEXT SC～』決勝戦

○併設イベント②『第 3 回ショップスタッフが作った来店したくなる動画集』

○出展者 合計 147 社 386 小間

ゾーン	出展者数	小間数
ディベロッパー	39	153
テナント (発見マルシェ 11 社含む)	41	87
サポート	43	87
DX・テクノロジー	24	59
合 計	147	386

○開催3日間の来場者数は延べ31,800名(前回21,330名)。

○事前来場登録は13,594名(前回9,893名)、来場履歴(QRコード読取)は3日間で10,467名(前回7,823名)。

○特別協賛は、(株)JR 東日本クロスステーション、JLL リテールマネジメント(株)、八重洲地下街(株)、(株)アジラ、インフォコム(株)の 5 社。各社の企業ロゴを公式Webサイトのトップページや、会場マップ、新聞広告に掲載。

(2) 発見マルシェについて

・雑貨、飲食関連等11社19小間が出展。うち初出展は5社。

(3) シンポジウム・セミナーについて

○有料セミナー

(敬称略)

■特別記念対談■		
『三井不動産の持続可能なまちづくりと商業施設の役割』		
講 師:三井不動産(株) 代表取締役社長	菰田 正信	
聞き手:関西大学 政策創造学部 教授	白石 真澄	
■EC事業者による特別講演■		
①『ZOZOのOMO戦略』		
講 師:(株)ZOZO ブランドソリューション本部 本部長 兼 想像戦略室 室長	風間 昭男	
②『Makuake流『顧客体験価値』の作り方 〜リアルxオンライン〜』		
講 師:(株)マクアケ キュレーター本部 執行役員	松岡 宏治	
■パネルディスカッション■		
『有力テナントからNEXT SCへの提言』		
パネリスト:(株)アダストリア 代表取締役社長	木村 治	
(株)ユナイテッドアローズ 代表取締役 社長執行役員CEO	松崎 善則	
コーディネーター:織研新聞社 取締役編集局長	矢野 剛	

○無料セミナー※()内は前回の実績

- ・聴講者1,594名(前回1,404名)
- ・出展者プレゼンテーション:17講座(21講座)
- ・主催者企画:7講座(7講座)/協賛セミナー:3講座(2講座)

主催者企画の1つとして、学生向けにSC業界研究セミナーを開催

(敬称略)

■主催者企画■

『2022年度最新版！若手社員に期待すること』

講師:三井不動産商業マネジメント(株) 人事部部長

北 健二郎

『SCの現況と未来』

講師:(株)産業タイムズ社 商業施設新聞編集長

高橋 直也

『SCディベロッパー企業 若手社員の日』

講師:東神開発(株) 営業本部千葉事業部 流山営業グループ

岡安 修平

(株)ルミネ ニュウマン新宿店営業部

能勢 莉子

JLLリテールマネジメント(株) 第2プロパティマネジメントチームワンズモール

照井 啓裕

※セミナー終了後、希望する学生にブース見学ツアーを実施

○懇親パーティー

- ・参加者 400名(内 有料参加者353名)
- ・新型コロナウイルス感染対策を施し、飲食ありの立食パーティーにて実施。

(4)併催イベント「チャレンジピッチ 2023 ～NEXT SC～」決勝戦

協会創立 50 周年を記念して新規事業提案コンテスト「チャレンジピッチ2023 ～NEXT SC～」決勝戦を展示ホールにて開催。応募総数 53 組の中から一次選考(書類審査)を通過した 11 組がピッチを繰り広げた。

◆募集要項

①募集テーマ

- 1)新商品・新業態 ～新たな価値を提供する売場提案～
- 2)新マーケティング・新サービス ～買い物利便性向上につながる提案～
- 3)ディベロッパービジネスの革新 ～SC 運営のイノベーション提案～

②選考基準

- ・新しい価値の創出であることを意識したビジネスプランであること
- ・将来性・実現可能性が高いこと

③応募資格

- ・学生、スタートアップ、企業内ベンチャーなど幅広く公募

④応募期間

- ・受付開始:2022 年 9 月 5 日(月)/募集締切:2022 年 11 月 10 日(木)

◆決勝戦出場者(11 組)

(敬称略)

①ネイス(株)

『子ども達のサードプレイスを創る新提案』

②JR 西日本 SC 開発(株)

『生活者に寄り添うお悩み解決ショップ』

③SAKAI FR

『高齢者向け出前型トレーニングスタジオ「モバトレ」』

④Terra Motors(株)

『EV 充電インフラ「Terra Charge」』

⑤ZOOO REWARDS(株)

『街がもっと楽しくなる新しい SC の世界』

⑥早稲田大学ビジネススクール不動産部

『MR コンテンツ提供サービス』
⑦(株)丸井 『「小売の民主化」テナントにとっての最高の出店体験を DX で実現』
⑧(株)HataLuck and Person 『SC、商業施設に特化した施設マネジメントアプリ「はた Luck®」』
⑨(株)grow&partners 『「あすいく」で安心託児、ママもゆっくり試着ができる！』
⑩New Commerce Ventures(株) 『SC の未来創造に向けた梁山泊プロジェクト』
⑪東日本旅客鉄道(株) 『お客さまから接客スタッフへのポジティブな声で ES・CS・売上向上を実現』
◆決勝戦結果
・決勝戦 : 期日 2023 年 1 月 26 日(木) 会場 パシフィコ横浜 展示ホール内 プレゼンテーション会場
・選考方法: ピッチコンテスト(1組あたりプレゼン5分+質疑応答5分)による選考
・表彰/賞金: 最優秀賞 1 組…賞金 50 万円+SC ビジネスフェア 2024(次回)出展権 優秀賞 2 組…賞金 20 万円
・受賞者は以下の通り 最優秀賞…(株)grow&partners 『「あすいく」で安心託児、ママもゆっくり試着ができる！』 優秀賞 …JR 西日本 SC 開発(株)『生活者に寄り添うお悩み解決ショップ』 (株)丸井 『「小売の民主化」テナントにとっての最高の出店体験を DX で実現』

(5) 併設イベント「第 3 回ショップスタッフが作った動画集」

併催イベントとして「ショップスタッフが作った動画集」を募集し、33 本の投稿があった。

全国大会実行委員会に選考会を設置し、ショート部門とスタンダード部門でそれぞれ、特に印象的な作品 5 点を選考し、表彰した。

なお、選考された動画は、5 月 23 日の定期総会の幕間にて、投影予定。

* 受賞動画は以下の通り

< ショート部門 (15 秒～1 分未満) >

(順不同・敬称略)

企業名	投稿者	所属	PR コメント
(株)バロックジャパンリミテッド	Rienda 金沢フォーラス店	rienda/ 金沢フォーラス	日々の SNS での発信までの様子を撮影！ ♪
ネイス(株)	ネイス体操教室	ネイス体操教室/草加マ ルイ校	楽しく体操実演 ♪
(株)ブレインアンドパートナー	Momo&Vicky	bpt ROOM/ 微風南山 atre(台湾)	新作 T シャツ&ワンピご紹介 します！

< スタンダード部門 (1 分～10 分未満) >

企業名	投稿者	所属	PR コメント
NEXCO 中日本サービス(株)	浅井祐希	NEXCO 中日本サービス / 敦賀サービスオフィス	敷地管理業務を紹介しま す！
(株)有隣堂	有隣堂 YouTube チーム	有隣堂/ ニッケコルトンプラザ店	15 万冊の本が並べられて いく様は圧巻です！

7. 接客ロールプレイングコンテスト実行委員会

2022 年度 活動総括

(1) 総括

2022 年度の支部大会は全国 8 支部で 3 年ぶりの有観客開催となった。

総勢 815 名の方々にご参加いただき昨年度が 676 名であったことを考慮すると、参加者数は大きく回復した。また、初の試みとしてライブ配信を行った。

1) SC 接客ロールプレイングコンテスト

2022 年 9 月 1 日の関東・甲信越大会を皮切りに、全国 7 支部 8 地区において開催した支部大会には、395(前回:329)のショッピングセンターから 815 名(前回:676 名)の競技者が参加。28 名の支部代表が、1 月 27 日(金)開催の全国大会に集結した。

全国大会大賞「SC 接客日本一」には三井アウトレットパーク仙台港「フルラ アウトレット」の志田紗恵さんが選ばれた。志田さんは、「もう一度この人に接客してほしい」と思わせるような人間力が審査員に評価され、大賞「SC 接客日本一」、経済産業大臣賞に選出された。

2) SC 接客マイスター検定制度

SC 接客マイスター試験は、ロールプレイングコンテスト支部大会申込者 815 名中、236 名が受験した。実技試験の結果、232 名が合格し、実技試験合格者を対象にした Web 筆記試験後の最終合格は、1 級 25 名、2 級 74 名、3 級 70 名の合計 169 名となった(再受験合格者 4 名を含む。)

(2) 事業報告

1) SC 接客ロールプレイングコンテスト

①支部大会

地区	開催日程	会場
北海道	10 月 12 日(水)	新さっぽろアーキシティホテル
東北	10 月 27 日(木)	ホテルメトロポリタン仙台
関東・甲信越	9 月 1 日(木)・2 日(金) 9 月 5 日(月)～8 日(木)	IMA ホール(光が丘 IMA)
東京	10 月 3 日(月)～7 日(金)	ムーブホール(ムーブ町屋)
中部	11 月 16 日(水)～18 日(金)	名古屋市中小企業振興会館メインホール
近畿	10 月 18 日(火)～21 日(金)	ホテル京阪京橋
中国・四国	11 月 10 日(木)～11 日(金)	さん太ホール(山陽新聞本社ビル)
九州・沖縄	9 月 28 日(水)・29 日(木)	JR 九州ホール(JR 博多シティ)

②全国大会受賞者一覧

(敬称略)

氏名	SC名	店名	支部(地区)大会
◆大賞・SC 接客日本一及び経済産業大臣賞			
志田 紗恵	三井アウトレットパーク 仙台港	フルラ アウトレット	東北大会
◆食品・飲食・サービス部門			
【優勝】			
松山 俊介	三井ショッピングパーク ららぽーとトーキョーベイ	ルピシア	関東・甲信越大会
【準優勝】			
濱田 怜一	さんすて福山	ルピシア	中国・四国大会
【協会創立 50 周年記念特別賞】 ※各部門の 3 位に該当する方			
本橋 由梨	東京ソラマチ	ムーミンカフェ	東京大会
◆ファッション・物販部門			
【優勝】			
渡邊 茉弥	パセーラ	ディーゼル	中国・四国大会
【準優勝】			
藤井 謙士郎	土岐プレミアム・アウトレット	タケオキクチ	中部大会
【協会創立 50 周年記念特別賞】 ※各部門の 3 位に該当する方			
齋藤 泰裕	アミュプラザ長崎	コロンビア	九州・沖縄大会
◆審査員長賞			
宮中 孝子	阪急西宮ガーデンズ	博多もつ鍋 やまや	近畿大会

※2023 年に当協会が創立 50 周年を迎えるにあたり、第 28 回全国大会では「協会創立 50 周年記念特別賞」を新設した。

※上記受賞者以外のすべての全国大会出場者は、「優秀賞」を受賞した。

③協賛金:99 口 4,950 千円 (予算:120 口 6,000 千円)

④特別協賛金:2,100 千円 (予算:1,000 千円)

2) SC 接客マイスター

SC接客マイスター試験 2022結果

2022年度(ロールプレイングコンテスト申込者815名)

(人)

	1級	2級	3級	不合格	合計
受験申込者	42	94	96	4	236



筆記試験受験者	25	90	92		207
---------	----	----	----	--	-----



最終合格者①	25	74	70		169
--------	----	----	----	--	-----

(参考)

【2015年度】(ロールプレイングコンテスト申込者1,013名)

(人)

	1級	2級	3級	不合格	合計
2015年度合格者②	73	75	135		283

【2016年度】(ロールプレイングコンテスト申込者1,012名)

(人)

	1級	2級	3級	不合格	合計
2016年度合格者③	44	50	208		302

【2017年度】(ロールプレイングコンテスト申込者1,056名)

(人)

	1級	2級	3級	不合格	合計
2017年度合格者④	35	24	217		276

【2018年度】(ロールプレイングコンテスト申込者1,075名)

(人)

	1級	2級	3級	不合格	合計
2018年度合格者⑤	36	40	209		285

【2019年度】(ロールプレイングコンテスト申込者1,107名)

(人)

	1級	2級	3級	不合格	合計
2019年度合格者⑥	27	105	138		270

【2021年度】(ロールプレイングコンテスト申込者676名)

(人)

	1級	2級	3級	不合格	合計
2021年度合格者⑦	22	75	85		182

【2015～2022年度】

(人)

2015～22年度合格者①～⑦	262	443	1062		1,767
-----------------	-----	-----	------	--	-------

※2014年度以前の1級取得者(全国大会出場者)は62名。

総数(人) 1,829

8. デジタルトランスフォーメーション委員会

2022年度 活動総括

(1) 総括

2022年度は、「DX 人材の育成」と「SC における従業員の業務効率化・生産性向上」を目的に活動をおこなった。

具体的には、「DX 人材の育成」については、各社がそれぞれ特性を打ち出して取り組む領域との考えから、各社のDX人材育成に寄与すべく、DXのハウツーに関する月刊誌連載を継続するとともに、DX勉強会を2回(10月、2月)開催した。

また、「SC における従業員の業務効率化・生産性向上」については、業界共通の課題として売上報告／売上管理の効率化・生産性向上を検討するワーキンググループを立ち上げ、今年度はあるべき業務フローの具体化や機運醸成の取組みに注力した。次年度は、ベンダー企業を巻き込んだ実装手法の検討に向け、引き続き議論を継続していきたい。

(2) 事業報告

1)【EX×協調領域】売上報告／売上管理の効率化・生産性向上に向けた取り組み

2021年度より立ち上げた売上報告/管理の効率化はワーキンググループ(名称:EX×協調領域推進WG。以下、WG)の議論を継続し、今年度は課題と解決策の議論進捗を提言として発表するとともに、効率化に向けたあるべき業務フローの具体化について議論を進めた。

①あるべき業務フローの検討

- 「現場同士ではなく本部同士での報告」「共通プラットフォーム構築」などについて検討
- 双方の負担軽減を念頭にしたアイデアを可視化し、主要ベンダー企業との意見交換を実施

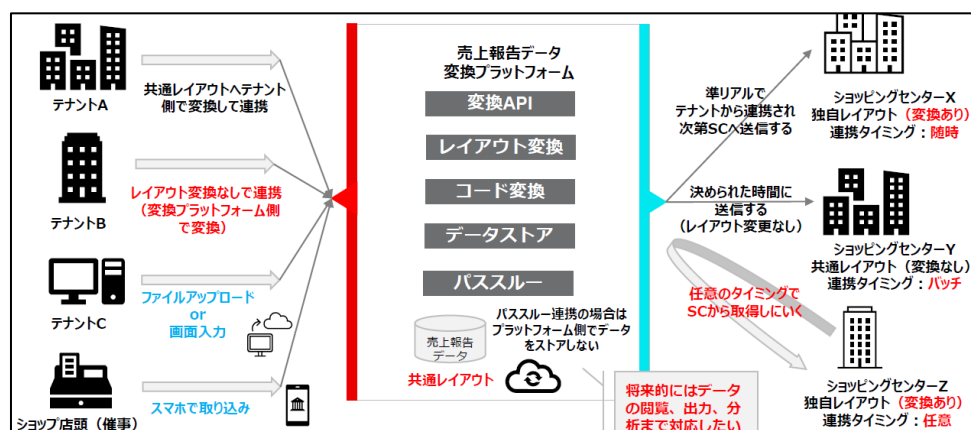
②業界全体での問題意識・解決機運課題の醸成

- 『売上報告の効率化に向けた提言』(第50回定期総会)
- SCBF2023において無料セミナー「ES視点で考える、その売上報告いつまで続けるの？」を実施
- 売上報告担当者による意見交換会を開催

こうした活動に対して、一部のベンダー企業から、当WGの将来構想に関する実現可能性について前向きな回答や今後の課題について示唆があった。次年度はベンダー企業を議論に交えながら、実装に向けた要件をまとめていく。

売上報告データ変換プラットフォームの構想

テナントから送信された売上報告データを変換プラットフォームで各ディベロッパー向けに最適なレイアウトに変換して連携する。



2)【CX×競争領域】月刊誌連載「DX 推進のハウツー」

DX の目的・本質等の DX 推進の効率的・効果的な進め方や留意点について、昨年度より1年間月刊誌「SC JAPAN TODAY」にて連載を行い、2022 年 6 月号で連載を終了した。

<連載記事>

執筆者:店舗の ICT 活用研究所 代表 郡司 昇氏

4 月号:ログインセキュリティに重要なのは「二段階認証」ではなく「二要素認証」

5 月号:データを活用する知恵を磨くには

6 月号:日本のショッピングセンターDX

3)【CX×競争領域】DX 勉強会

SC業界における人材育成の一環として、「DX 勉強会」を開催した。2022 年度より委員企業から組織した幹事団による企画・運営体制に移行し、より会員ニーズに即した勉強会を実施した。

<第3回 DX 勉強会>

開催日時	2022 年 10 月 25 日 14:30～16:30 (受付 14:00～)
会 場/形 式	SC 協会会議室/オンライン配信併用
テーマ	会員企業や実務者に関心の高いテーマとして、「海外先進事例」および「最新テクノロジートレンド」を取り上げる。
プログラム・登壇者	講演①『中国 DX の最新動向』(仮題) 講 師:ジャンシン(匠新)グループ 創業者・CEO 田中 年一 氏 講演②『WEB3 時代におけるメタバースの可能性』(仮題) 講 師:榊Psychic VR Lab COO 渡邊 信彦 氏
参加者	計 58 名 (協会会議室 11 名、オンライン聴講 47)

<第4回 DX 勉強会>

開催日時	2023 年 2 月 21 日 13:00～15:30
会 場/形 式	SC 協会会議室
テーマ	売上報告業務担当者による意見交換会を開催(1/26 開催の SCBF 無料セミナーとの連動企画)
プログラム	・ オリエンテーション ・ グループディスカッション(デベ、テナント、サポート企業が同じテーブルに揃い、自社の課題共有や課題解決について議論) ・ 発表&全体ディスカッション ・ 参加者交流
参加者	計 23 名 (デベ 12 社 14 名 テナント3社5名 サポート企業 5 社5名)

9. 第9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞選考委員会

2022 年度 活動総括

(1) 総括

4年振りの選考であった「9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞」は、公募(合計59SC)と全国7支部に設置された支部ノミネート委員会の委員による推薦から支部ノミネートを行い、12月23日の第2回選考委員会にて第一次審査を行い、最終ノミネート21SCを選考した。2023年1月末から2月末の約1ヶ月にて全21SCの現地調査・ヒアリングを実施。第3回選考委員会において各賞を選考し、第2回企画会議にて内定後、2023年度第1回理事会にて各賞を決定した。

(2) 事業報告

1)「第9回日本SC大賞」「第7回地域貢献大賞」エントリーSCの募集

実施要領を策定し、チラシ配布のほか記者懇談会やニュースリリースにて配信。募集期間は、7月1日～8月31日。日本SC大賞は20SC、地域貢献大賞は45SC、合計59SC(ダブルノミネートは6SC)のエントリーがあった。

2)支部ノミネートについて

9月～11月にかけて各支部においてノミネート委員会を開催し、応募のあったSCと支部ノミネート委員による推薦SCのなかから支部ノミネートSCを決定。12月2日までに選考委員会へ推薦理由と共に提出された。

3)各賞の決定について

支部ノミネートSCについて、12月23日開催の選考委員会で第一次審査を行った。最終ノミネートは21SCで、内訳は、日本SC大賞5SC、ニューフェイス賞3SC、リノベーション賞2SC、ES賞2SC、特別賞2SC、地域貢献大賞7SCである。12月27日、最終ノミネートSC及び今後のスケジュールについて支部ノミネート委員会に情報開示を行った。

最終ノミネート21SCについては、1月30日(月)から2月27日(月)延べ14日間にわたり、ヒアリングおよび現地調査を実施。3月8日の選考委員会にて、ヒアリングおよび現地調査の結果報告後、各賞(案)を決定した。

4)支部特別賞について

今回より、『支部特別賞』を創設した。名称は「〇〇支部特別賞」とする(例:北海道の場合、『北海道支部特別賞』)。選考にあたっては支部独自の賞として、選考は支部ノミネート委員会に一任する。

第2回企画会議(3月27日)の承認を得て、支部ノミネート委員会に各賞内定結果を報告。

4月上旬に支部ノミネート委員会にて支部特別賞を決定し、2023年度第1回理事会で報告した。

5)表彰について

5月23日開催の「第51回定期総会」後、表彰式を執り行う。

10. SC 経営士会

2022 年度 活動総括

(1) 総括

2022年度は、幹事会を4回、会長・副会長会議を3回開催し、活動内容等について審議を行った。これを受けて、ブロック活動、例会(夏・秋・春)、年次ゼネラルミーティング(1月)を開催、SCビジネスフェア2023では業務・広報グループが中心となって、SC経営士会主催のセミナーを開催した。

また業務・広報グループでは『SC経営士会【THE CIRCLE】』を内容の充実を図り4回配信した。引き続き、人材育成委員会からの依頼を受けて、SC経営士更新講習の企画や冠講座の講師を提案した。

年間課題研究としては「アフターコロナを見据えたショッピングモールの未来像」をテーマにインタビュー形式による対談を収録し、Youtubeで配信すると共にSC協会のホームページ等に掲載した。

ブロック活動は、北海道から九州・沖縄まで7ブロックがSC経営士相互の交流を促進する行事を実施したほか、協会支部と連携した企画に取り組んだところもある(参照/2022年度SC経営士会活動一覧)。

(2) 事業報告

1) 「例会」について

①「夏の例会」

- ・開催日時 2022年7月5日(火) 15:00～17:00
- ・参加人数 113名
- ・会場形式 会場/オンライン併催
- ・テーマ 「“場”の声を聴く～ソフトの力で不動産価値を上げるには～」
講師: 東方文化支援財団 代表理事 中野 善壽 氏
インタビュアー: SC経営士会副会長 三輪 美恵 氏(株式会社JTB 常務執行役員)

②「秋の例会」

- ・開催日時 2022年11月15日(火) 15:00～17:00
- ・参加人数 85名
- ・会場形式 会場/オンライン併催
- ・テーマ ～「流山おおたかの森」周辺エリアのサスティナブルな街づくりについて～
【第1部】講演(50分)
テーマ: ～「流山おおたかの森」周辺エリアのサスティナブルな街づくりについて～
講師: 東神開発(株) 営業本部 千葉事業部 事業部長 小池 貴 氏
【第2部】トークセッション(45分)
登壇者: 東神開発(株) 営業本部 千葉事業部 事業部長 小池 貴 氏
東神開発(株) 営業本部 千葉事業部 副部長 兼 流山管理グループ
グループマネージャー 吉田 隆一 氏
【質疑応答】(15分)
司会: SC経営士会 関東・甲信越ブロック 副ブロック長
永富 宣治 氏(東日本旅客鉄道(株))
SC経営士会 関東・甲信越ブロック 運営委員
若宮 淳子 氏(三井不動産商業マネジメント(株))

③「春の例会」

- ・開催日時 2023年3月15日(水) 14:00～17:00
- ・参加人数 80名
- ・会場形式 現地視察を兼ねた現地/オンライン併催
- ・テーマ 官民連携プラットフォーム「よこらぼ」を中心としたまちづくり事例
【第1部】町内施設の現地視察
チャレンジキッチン「ENgaWA(えんがわ)」、コミュニティラウンジArea898、
滞在型交流施設LAC横瀬、横瀬駅前食堂

【第2部】セミナー

横瀬町について、官民連携プラットフォーム「よこらぼ」について、
4つの場づくりについて、今後の展望
講師：埼玉県秩父郡横瀬町 町長 富田 能成 氏

2) 「年次ゼネラルミーティング」について

- ・開催日時 2023年1月25日(水) 10:30～13:00
- ・会場 パシフィコ横浜 会議センター 503号室
- ・プログラム SC経営士会会長挨拶、副会長・ブロック長紹介、2022年度活動報告、2023年度活動計画、新SC経営士紹介(インタビュー)、参加者交流会
- ・参加者 152名

3) SCビジネスフェア2023 「SC経営士会主催セミナー」

- ・開催日時 2023年1月25日(水) 16:15～17:45
 - ・会場 パシフィコ横浜 展示ホール A会場
 - ・テーマ 「SCの未来を語ろう」～SC×DX その可能性を知りたいあなたへ～
 - ・参加者 100名
- パネリスト: JR西日本SC開発(株) カンパニー統括本部 開発戦略部 部長 兼
コンサルティング部 担当部長 舟本 恵 氏
(株)ハコスコ 代表取締役社長 藤井 直敬 氏
(株)カウンターワークス 取締役 COO/CFO 藪本 祐介 氏
コーディネーター: (株)トリニティーズ 代表取締役社長 中山 亮 氏

4) SC経営士登録更新講習について

人材育成委員会からの依頼を受けて、SC経営士登録更新講習を企画し、2022年度SC経営士更新講習を東京(9/22は63名、11/10は36名)にてオンライン(Zoom)によるハイブリッド形式で行った。

5) 冠講座の企画について

冠講座についても人材育成委員会から依頼を受けて、2022年度前期は宮城大学、後期は専修大学で実施した。具体的には、協会事務局と連携して、カリキュラムのそれぞれの単元について、支部管内の企業、SC経営士等の講師案を作成し実施。

6) SC経営士会【THE CIRCLE】の配信について

業務・広報グループでは『SC 経営士会【THE CIRCLE】』の内容の一層の充実を図り、第 25 号(6 月 13 日発行)から第 28 号(3 月末発行)まで 4 号を配信した。

7) 課題研究について

2022年度は2021年度に引き続き「アフターコロナを見据えたショッピングモールの未来像」をテーマとして以下の内容にて研究を進めた。

<推進方法>

インタビュー形式による対談を収録し、Youtubeで配信すると共にSC協会のホームページ等に掲載。

<各回のテーマ>

- 【テーマ3】「SCにおける官民連携と地方創成事業の実践」(2022年5月13日配信)
- 【テーマ4】「『メタバース×SC』～今、話題のメタバースを学ぼう！～」(2022年9月27日配信)
- 【テーマ5】「『テナント』『地域』と共に真剣に取り組むチャレンジングな事例」(2023年1月30日配信)
- 【テーマ6】「コロナを経て変わる消費者心理・行動変容とは？」(2023年3月配信)
- 【テーマ7】「持続可能なSC経営のヒント」(2023年3月配信)
- 【テーマ8】「大和リバーサイドタウンPIOにおける超ローカルSCの底力～事業承継を経た次世代経営者たちの挑戦～」(2023年3月配信)

2023年3月22日現在

2022年度 SC経営士会 活動スケジュール

■：実施済み □：予定

	2022年度												2023年度			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
SC協会行事等			■ 4/27 第1回理事会(2022年度活動計画決定)					■ 10/20 第1回企画会議(2022年度上期事業報告)			■ 1/25~27 第47回日本SC全国大会	□ 3/27 第2回企画会議(2023年度事業)				
幹事会			■ 5/25 第50回定例総会(2022年度活動計画決定)		■ 7/2 第1回幹事会		■ 9/16 第2回正副会長会議	■ 10/14 第2回幹事会	■ 12/9 第3回幹事会			■ 3/17 第4回幹事会				
幹事会グループ ブロック長会議			■ 6/24 第1回正副会長会議						■ 11/18 第3回正副会長会議							
例会			■ 7/5 夏の例会						■ 11/15 秋の例会		■ 1/25 セミナー・イベント (2023年度活動計画発表会)	■ 3/15 春の例会				
研修・研究グループ			□ 年間研究 You Tube 定期配信「アバター・コラを捉えるエンタテインメントの未来像」 ■ 5/13 テーマ3配信			■ 9/22 総務更新講習会①	■ 9/27 テーマ4配信		■ 11/10 総務更新講習会②		■ 1/30 テーマ5配信	□ テーマ6配信 □ テーマ7配信 □ テーマ8配信				
業務・広報グループ			■ 5/26 若手・中堅経営士交流会 ■ 6/13 THE ORQLE25号				■ 9/27 テーマ4配信	■ 冠講堂 専修大学	■ 12/8 若手・中堅経営士交流会	■ 1/28 年次総会・ミーティング(企画・運営)	■ 5/28 スペース27資料セミナー(企画・運営)	■ 1/11 THE ORQLE27号				
北地区ブロック 3/22更新			■ 5/19 ブロック運営会議 懇親会		■ 8/2 ブロック運営会議 懇親会	■ 9/16 第2回ブロック運営会議 懇親会	■ 10/26 ブロック運営会議 懇親会	■ 12/21 ブロック運営会議 懇親会	■ 1/12/21 ブロック運営会議 懇親会			■ 3/23 下回ブロック運営会議 懇親会	■ 4/15 支部連絡セミナー (50周年記念企画)			
東北ブロック 2/20更新			■ 4/18 ブロック運営会議(WEB)		■ 6/21 東日本47ブロック共催新SC経営士歓迎イベント	■ 7/7-8 第310年秋の三陸復興祭	■ 10/5 ブロック運営会議	■ 12/22 ブロック運営会議		■ 11/29 北東学園大学コラボ講座第二回目						
関東・甲信越ブロック 2/24更新			■ 4/15 新SC経営士歓迎 イベント打ち合せ(オンライン)	■ 5/19 新SC経営士歓迎 イベント打ち合せ(オンライン)	■ 6/7 新SC経営士歓迎 イベント打ち合せ(オンライン)	■ 7/8 SC協会支部との 情報交換会	■ 8/3 ブロック運営会議 (オンライン)	■ 9/9 ブロック運営会議 (オンライン)	■ 10/21 秋の例会準備 (茨城おたけの森)	■ 11/15 秋の例会 運営メンバー懇親会		■ 2/22 ブロック運営会議 (オンライン)				
中部ブロック 3/22更新			■ 5/12 ブロック運営会議 (WEB)	■ 6/28 ブロック運営会議 (WEB)	■ 7/8 SC協会支部との 情報交換会	■ 8/15 「ブロック秋の例会」 若手SC経営士フォローUPセミナー (若手経営士によるフォロー及び情報交換)	■ 9/15 「ブロック秋の例会」 若手SC経営士フォローUPセミナー (オンライン)	■ 10/13 近畿SC経営士研修・交流会	■ 11/24 新人歓迎会	■ 12/9 SC協会支部との 合同研修会 & 交流会	■ 2/10 ブロック運営会議 懇親会	■ 3/14 ブロック運営会議 懇親会	■ 4/28 秋の例会 中部支部合同セミナー & 交流会			
近畿ブロック 3/22更新			■ 6/10 ブロック運営会議(WEB)	■ 7/20 ブロック運営会議(WEB)	■ 8/20 支部運営委員会 ■ 9/15SC研究会	■ 10/13 近畿SC経営士研修・交流会	■ 11/24 新人歓迎会	■ 12/9 SC協会支部との 合同研修会 & 交流会	■ 2/10 ブロック運営会議 懇親会	■ 3/14 ブロック運営会議 懇親会	■ 4/28 秋の例会 中部支部合同セミナー & 交流会	■ 5/12 ブロック運営会議 懇親会	■ 6/26 支部連絡セミナー			
中国・四国ブロック 3/22更新			■ 6/15SC研究会	■ 7/20 支部運営委員会 ■ 8/15SC研究会	■ 9/15SC研究会	■ 10/13 近畿SC経営士研修・交流会	■ 11/24 新人歓迎会	■ 12/9 SC協会支部との 合同研修会 & 交流会	■ 2/10 ブロック運営会議 懇親会	■ 3/14 ブロック運営会議 懇親会	■ 4/28 秋の例会 中部支部合同セミナー & 交流会	■ 5/12 ブロック運営会議 懇親会	■ 6/26 支部連絡セミナー			
九州・沖縄ブロック 3/22更新			■ 5/11 ブロック運営会議		■ 7/20 支部運営委員会 ■ 8/15SC研究会	■ 9/15SC研究会	■ 10/13 近畿SC経営士研修・交流会	■ 11/24 新人歓迎会	■ 12/9 SC協会支部との 合同研修会 & 交流会	■ 2/10 ブロック運営会議 懇親会	■ 3/14 ブロック運営会議 懇親会	■ 4/28 秋の例会 中部支部合同セミナー & 交流会	■ 5/12 ブロック運営会議 懇親会	■ 6/26 支部連絡セミナー		
各ブロックの行事色分けのキャンペーン			□ 各ブロックの2022年度会議	□ 各ブロックの10人献金活動	□ 各ブロックの2022年度会議	□ 各ブロックの2022年度会議	□ 各ブロックの2022年度会議	□ 各ブロックの2022年度会議	□ 各ブロックの2022年度会議	□ 各ブロックの2022年度会議	□ 各ブロックの2022年度会議	□ 各ブロックの2022年度会議	□ 各ブロックの2022年度会議	□ 各ブロックの2022年度会議	□ 各ブロックの2022年度会議	□ 各ブロックの2022年度会議